

令和2年2月17日

川西市長 越田 謙治郎 様

市立川西病院経営評価委員会
委員長 邊見 公雄

市立川西病院の指定管理者による管理運営状況の評価について（中間答申）

令和元年7月23日付で諮問を受けた市立川西病院の指定管理者による管理運営状況の評価について、経営評価委員会ではこれまで3回にわたって審議してきました。つきましては、別紙「市立川西病院 指定管理者 評価表」のとおりに評価し、以下の点を指摘して中間答申とします。

現在の病院の経営状況は、令和元年5月から、看護師の大量退職を発端として、看護体制を7対1から10対1に変更し、4階北病棟を休棟しております。指定管理者は、今年度内の回復を目指しておりましたが、現状は、入院・外来患者数ともに低迷が続いており、その回復は困難な状況であります。

しかし、現状の患者数、治療の質においては、看護体制の7対1への回復、4階北病棟の再開をせずとも患者様に対するサービスの質を維持することが出来ている、将来を見据えた小児科医師及び緩和ケア外科医師等の充実を図っているなど、これまで開催してきた当委員会においても、市が経営できなかった病院を指定管理者が懸命に引き継いでいることをしっかりと評価すべきであるとの意見が大勢を占めていました。

そこで、本委員会からの付帯意見として、市立川西病院の指定管理者による管理運営状況を鑑み、「今年度内の看護体制7対1への回復と4階北病棟の再開の見送りはやむを得ない」と付するものとします。

経営評価委員会では、上記の課題について検証しながら更に審議を進め、最終答申を行うことにします。

以上